

平成23年静岡県の人口動態統計（概数）の概況

目 次

	頁
人口動態調査の概要	1
静岡県における結果の概要	2
1 出 生	
(1) 出生数・出生率	5
(2) 合計特殊出生率	5
2 死 亡	
(1) 死亡数・死亡率	6
(2) 死 因	7
3 死産	10
4 婚姻・離婚	
(1) 婚 姻	11
(2) 離 婚	12

統 計 表

表 1 実数・率の年次推移

表 2 2次保健医療圏・保健所・市町別 実数

表 3 2次保健医療圏・保健所・市町別 率

表 4 死亡数、性・年齢（5歳階級）・死因简单分類別

表 5 乳児死亡数・新生児死亡数、性・死因（乳児死因简单分類）別

付 表

率算出に用いた人口

参 考

本資料を含む主要な統計資料は、静岡県ホームページ（統計センターしずおか）に掲載しています。

静岡県ホームページ（URL） <http://www.pref.shizuoka.jp/>

静岡県における結果の概要

1 出生数は減少

出生数は31,172人で、前年の31,896人より724人減少し、出生率（人口千対）は8.4で、前年の8.6を下回った。

また、合計特殊出生率は1.49で前年の1.54を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は37,301人で、前年の36,420人より881人増加し、死亡率（人口千対）は10.1で、前年の9.8を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物（死亡数10,229人、死亡率（人口10万対）276.9）、第2位が心疾患（5,725人、155.0）、第3位が脳血管疾患（4,105人、111.1）となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は△6,129人で、前年より1,605人減少し、自然増加率（人口千対）は△1.7で、前年の△1.2を下回った。

4 乳児死亡数は増加、新生児死亡数は減少

乳児死亡数は70人で、前年より2人増加し、乳児死亡率（出生千対）は2.2で、前年の2.1を上回った。

また、新生児死亡数は30人で、前年より4人減少し、新生児死亡率（出生千対）は1.0で、前年の1.1を下回った。

5 死産数は増加

死産数は720胎で、前年より4胎増加し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は22.6で、前年の22.0を上回った。

6 婚姻件数は減少

婚姻件数は19,093組で、前年より1,230組減少し、婚姻率（人口千対）は5.2で、前年の5.5を下回った。

7 離婚件数は減少

離婚件数は6,805組で、前年より436組減少し、離婚率（人口千対）は1.84で、前年の1.96を下回った。

表1 人口動態総覧

	静岡県							全国			
	実数		率		全国順位		平均発生間隔	実数		率	
	23年 (概数)	22年 (確定数)	23年 (概数值)	22年 (確定値)	23年	22年	23年	23年 (概数)	22年 (確定数)	23年 (概数值)	22年 (確定値)
出生	31,172	31,896	8.4	8.6	16	15	16分52秒	1,050,698	1,071,304	8.3	8.5
男	15,932	16,344	8.8	9.0	…	…	32分59秒	538,216	550,742	8.8	8.9
女	15,240	15,552	8.1	8.3	…	…	34分29秒	512,482	520,562	7.9	8.0
死亡	37,301	36,420	10.1	9.8	34	32	14分05秒	1,253,463	1,197,012	9.9	9.5
男	19,580	19,072	10.8	10.5	…	…	26分51秒	656,692	633,700	10.7	10.3
女	17,721	17,348	9.5	9.2	…	…	29分40秒	596,771	563,312	9.2	8.7
乳児死亡	70	68	2.2	2.1	26	37	125時間8分34秒	2,463	2,450	2.3	2.3
新生児死亡	30	34	1.0	1.1	24	28	292時間00分00秒	1,147	1,167	1.1	1.1
自然増加	△ 6,129	△ 4,524	△ 1.7	△ 1.2	13	14	………	△ 202,765	△ 125,708	△ 1.6	△ 1.0
死産	720	716	22.6	22.0	33	40	12時間10分00秒	25,755	26,560	23.9	24.2
自然死産	375	379	11.8	11.6	16	23	23時間21分36秒	11,946	12,245	11.1	11.2
人工死産	345	337	10.8	10.3	40	40	25時間23分29秒	13,809	14,315	12.8	13.0
周産期死亡	132	134	4.2	4.2	28	24	65時間21分49秒	4,314	4,515	4.1	4.2
妊娠満22週以後の死産	109	107	3.5	3.3	…	…	80時間22分01秒	3,490	3,637	3.3	3.4
早期新生児死亡	23	27	0.7	0.8	…	…	380時間52分10秒	824	878	0.8	0.8
婚姻	19,093	20,323	5.2	5.5	9	10	27分32秒	661,899	700,214	5.2	5.5
離婚	6,805	7,241	1.84	1.96	17	21	1時間17分14秒	235,734	251,378	1.87	1.99
合計特殊出生率			1.49	1.54	17	15				1.39	1.39

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。

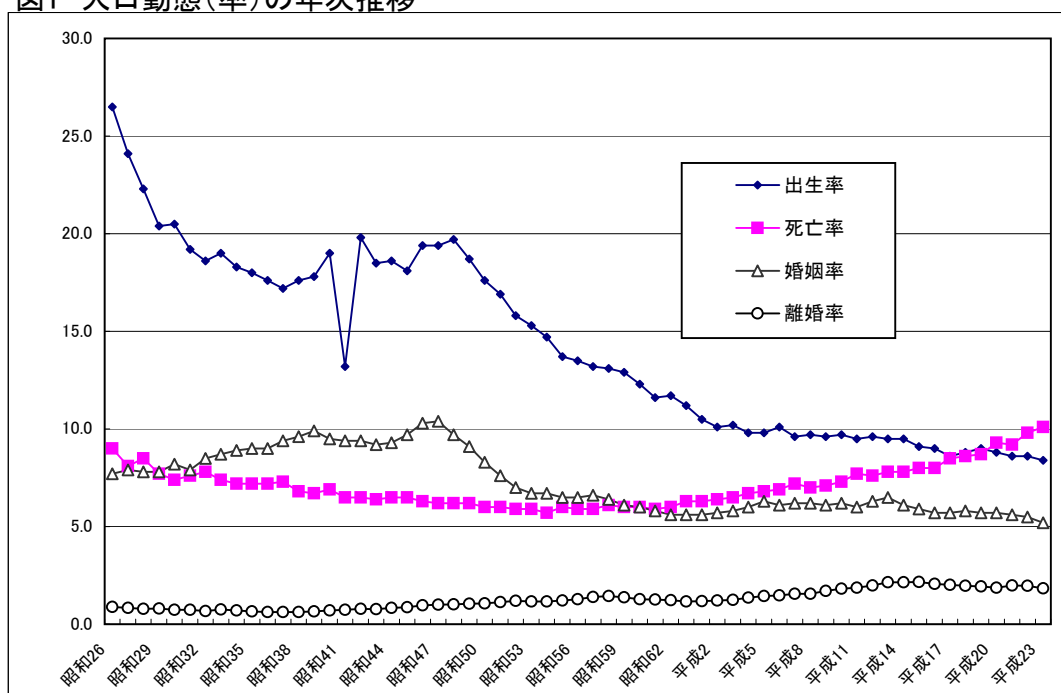
3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の平成23年10月1日現在推計人口である。

(静岡県… 3,694,000人、 全国… 126,180,000人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
55	47,160	13.7	20,550	6.0	305	6.5	184	3.9	2,039	41.4	22,460	6.5	4,202	1.22
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
平成元年	38,075	10.5	22,769	6.3	144	3.8	73	1.9	1,503	38.0	20,435	5.6	4,302	1.18
2	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
3	37,385	10.2	23,850	6.5	175	4.7	103	2.8	1,334	34.5	21,356	5.8	4,571	1.25
4	35,973	9.8	24,619	6.7	164	4.6	80	2.2	1,321	35.4	22,000	6.0	5,017	1.36
5	36,098	9.8	25,089	6.8	153	4.2	73	2.0	1,191	31.9	23,144	6.3	5,292	1.44
6	37,462	10.1	25,503	6.9	151	4.0	86	2.3	1,196	30.9	22,724	6.1	5,426	1.47
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
8	36,081	9.7	26,089	7.0	118	3.3	60	1.7	1,074	28.9	23,117	6.2	5,795	1.56
9	35,606	9.6	26,343	7.1	116	3.3	65	1.8	1,026	28.0	22,513	6.1	6,298	1.70
10	35,921	9.7	27,178	7.3	107	3.0	57	1.6	1,017	27.5	23,134	6.2	6,780	1.82
11	35,395	9.5	28,753	7.7	111	3.1	62	1.8	1,080	29.6	22,429	6.0	6,976	1.87
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
13	35,193	9.5	28,914	7.8	86	2.4	42	1.2	1,044	28.8	24,019	6.5	7,967	2.14
14	35,212	9.5	28,894	7.8	94	2.7	57	1.6	1,067	29.4	22,635	6.1	7,985	2.14
15	34,061	9.1	29,813	8.0	109	3.2	68	2.0	1,038	29.6	21,817	5.9	8,087	2.17
16	33,628	9.0	29,809	8.0	83	2.5	46	1.4	960	27.8	21,304	5.7	7,688	2.06
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
23	31,172	8.4	37,301	10.1	70	2.2	30	1.0	720	22.6	19,093	5.2	6,805	1.84

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

平成23年の出生数は31,172人で、前年の31,896人より724人減少した。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成15年は3万5千人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。39歳以下の各階級では前年より減少したが、40歳以上の出生数は前年より増加しており、35歳以上の母親からの出生数は、全体の23%になっている。

出生率（人口千対）は8.4で、前年の8.6を下回った。

表3 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次推移

	出生数				対前年増減		割合	
	平成23年	22年	21年	13年	23年-22年	22年-21年	23年	13年
総数	31,172	31,896	31,901	35,193	△ 724	△ 5	100.0	100.0
～19歳	360	424	452	629	△ 64	△ 28	1.2	1.8
20～24	3,182	3,313	3,667	4,681	△ 131	△ 354	10.2	13.3
25～29	9,433	9,655	9,572	13,906	△ 222	83	30.3	39.5
30～34	11,023	11,447	11,530	11,996	△ 424	△ 83	35.4	34.1
35～39	6,104	6,162	5,889	3,552	△ 58	273	19.6	10.1
40歳以上	1,070	895	791	428	175	104	3.4	1.2

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

平成23年の合計特殊出生率は1.49で、平成22年の1.54から低下した。

しかし、前年の平成22年は5年に一度の国勢調査年であり、平年と算定方式が異なることから、単純には比較が出来ない。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていたが、平成15年以降は総じて上昇傾向となっている。

<参考>

厚生労働省が算出する都道府県別の合計特殊出生率は、国勢調査年とそれ以外の年で算出方法が異なる。非国勢調査年は外国人を含む年齢別の女性人口を分母として算出しているが、国勢調査年は国勢調査に基づく日本人のみを分母としている。これにより、国勢調査年は分母が小さくなることから、合計特殊出生率は高めとなる傾向がある。

『H22合計特殊出生率 確定値1.54（概数値1.48）』※概数値は平年と同じ分母で算出。

表4 合計特殊出生率の年次推移

	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	13年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.40
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.33
14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	
1.41	1.37	1.37	1.39	1.39	1.44	1.44	1.43	1.54	1.49	
1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	

2 死 亡

(1) 死亡数・死亡率

平成23年の死亡数は37,301人で、前年の36,420人より881人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成5年には2万5千人を、平成17年は3万人を超えた。

平成23年の死亡率（人口千対）は10.1で、前年の9.8を上回った。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を、平成20年には9.0を超え、平成23年には10.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静岡県		全 国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成元年	22,769	6.3	788,594	6.4
2	23,543	6.4	820,305	6.7
3	23,850	6.5	829,797	6.7
4	24,619	6.7	856,643	6.9
5	25,088	6.8	878,532	7.1
6	25,503	6.9	875,933	7.1
7	26,666	7.2	922,139	7.4
8	26,089	7.0	896,211	7.2
9	26,343	7.1	913,402	7.3
10	27,178	7.3	936,484	7.5
11	28,753	7.7	982,020	7.8
12	28,323	7.6	961,653	7.7
13	28,914	7.8	970,313	7.7
14	28,894	7.8	982,379	7.8
15	29,813	8.0	1,014,951	8.0
16	29,809	8.0	1,028,602	8.2
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
23	37,301	10.1	1,253,463	9.9

表6 年齢(5歳階級)別にみた、死亡数・死亡率(人口10万対)

	死 亡 数			死 亡 率		
	平成 23 年	平成 22 年	対前年増減	平成 23 年	平成 22 年	対前年増減
総 数	37,301	36,420	881	1,009.8	983.6	26.2
0～4歳	98	88	10	61.8	55.3	6.5
5～9	17	13	4	10.3	7.7	2.6
10～14	10	19	△ 9	5.7	10.8	△ 5.1
15～19	48	42	6	27.8	25.3	2.5
20～24	86	81	5	59.1	51.8	7.3
25～29	91	90	1	47.5	45.8	1.7
30～34	104	144	△ 40	47.5	63.2	△ 15.7
35～39	201	212	△ 11	74.6	77.3	△ 2.7
40～44	303	260	43	115.8	105.5	10.3
45～49	418	393	25	185.8	170.1	15.7
50～54	618	660	△ 42	274.7	289.7	△ 15.0
55～59	969	1,140	△ 171	391.5	439.0	△ 47.5
60～64	2,022	1,868	154	638.7	623.2	15.5
65～69	2,391	2,544	△ 153	1,008.5	1,018.0	△ 9.5
70～74	3,353	3,264	89	1,545.0	1,549.6	△ 4.6
75～79	4,840	4,857	△ 17	2,668.7	2,727.6	△ 58.9
80～84	6,746	6,636	110	4,949.2	4,972.6	△ 23.4
85～89	6,804	6,376	428	8,438.9	8,508.5	△ 69.6
90歳以上	8,182	7,732	450	18,593.8	18,390.7	203.1

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

平成23年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物で10,229人、死亡率(人口10万対)276.9、第2位は心疾患で5,725人、死亡率155.0、第3位は脳血管疾患で4,105人、死亡率111.1となっており、この順位は平成11年以降同じである。

全死亡者に占める割合は、それぞれ27.4%、15.3%、11.0%であり死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位

死 因	静 岡 県						全 国			
	平成23年			平成22年			平成23年		平成22年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割 合(%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割 合(%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	37,301	1,009.8	100.0	36,420	983.6	100.0	1,253,463	993.4	1,197,012	947.1
悪性新生物(1)	10,229	276.9	27.4	(1) 10,262	277.1	28.2	(1) 357,185	283.1	(1) 353,499	279.7
心 疾 患(2)	5,725	155.0	15.3	(2) 5,464	147.6	15.0	(2) 194,761	154.4	(2) 189,360	149.8
脳血管疾患(3)	4,105	111.1	11.0	(3) 4,145	111.9	11.4	(4) 123,784	98.1	(3) 123,461	97.7
肺 炎(4)	3,111	84.2	8.3	(4) 3,176	85.8	8.7	(3) 124,652	98.8	(4) 118,888	94.1
老 衰(5)	2,609	70.6	7.0	(5) 2,220	60.0	6.1	(6) 52,207	41.4	(5) 45,342	35.9
不慮の事故(6)	1,294	35.0	3.5	(6) 1,229	33.2	3.4	(5) 59,596	47.2	(6) 40,732	32.2
自 殺(7)	831	22.5	2.2	(7) 854	23.1	2.3	(7) 28,874	22.9	(7) 29,554	23.4
腎 不 全(8)	786	21.3	2.1	(8) 754	20.4	2.1	(8) 24,493	19.4	(8) 23,725	18.8
大動脈瘤及び解離(9)	505	13.7	1.4	(9) 528	14.3	1.4	(11) 15,566	12.3	(11) 15,209	12.0
糖 尿 病(10)	498	13.5	1.3	(10) 506	13.7	1.4	(12) 14,634	11.6	(12) 14,422	11.4

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。

表8 性別にみた死因順位別、死亡数・死亡率(人口10万対)

(平成23年)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺 炎	不慮の事故
	死亡数	6,235	2,709	1,993	1,722	769
	死亡率	342.6	148.8	109.5	94.6	42.3
女	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老 衰	肺 炎
	死亡数	3,994	3,016	2,112	1,985	1,389
	死亡率	213.1	160.9	112.7	105.9	74.1

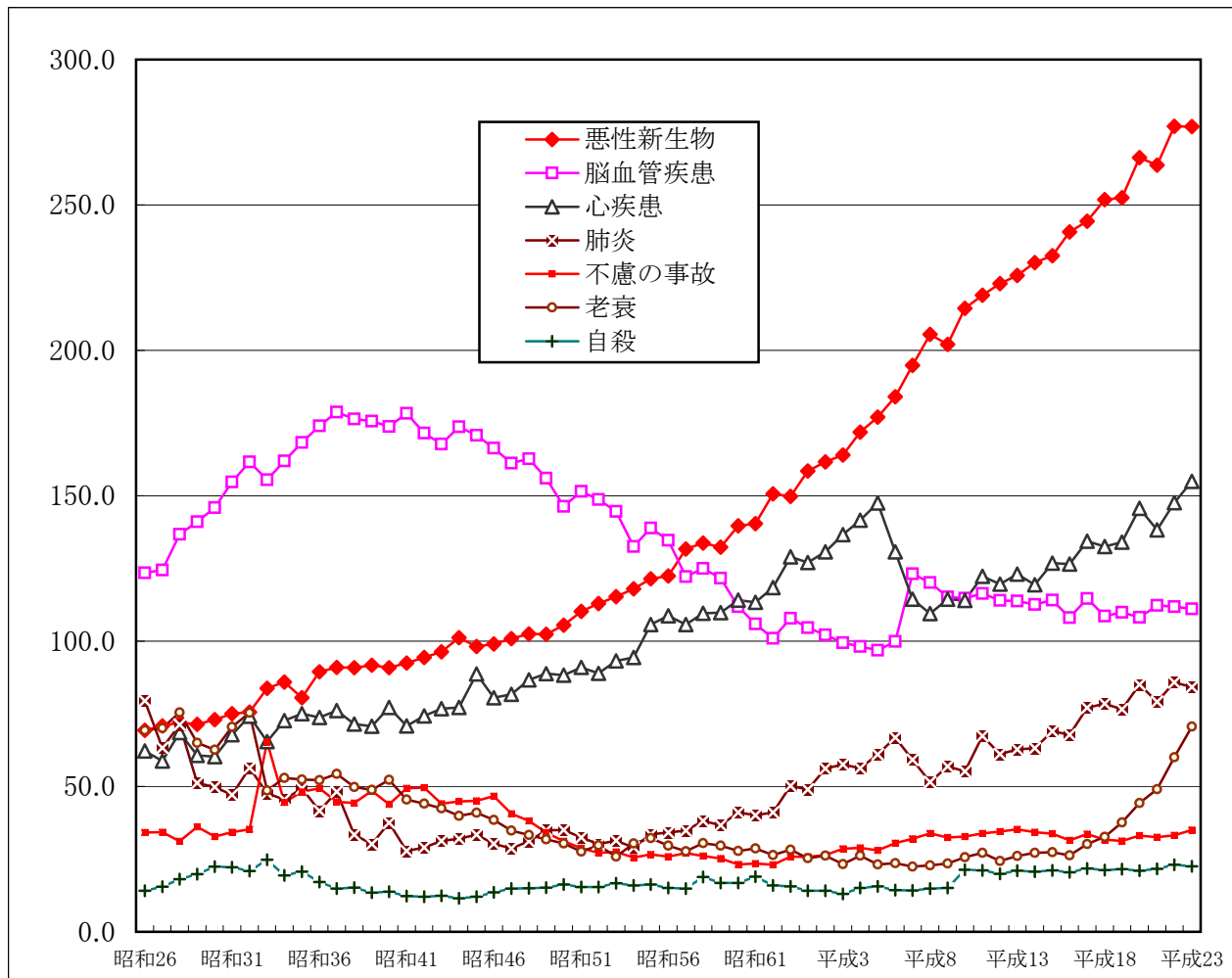
		第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
男	死 因	老 衰	自 殺	腎不全	慢性閉塞性肺疾患	糖尿病
	死亡数	624	588	416	386	274
	死亡率	34.3	32.3	22.9	21.2	15.1
女	死 因	不慮の事故	腎不全	大動脈瘤及び解離	自 殺	糖尿病
	死亡数	525	370	250	243	224
	死亡率	28.0	19.7	13.3	13.0	12.0

(注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死因順位の第1位となっている。

3大死因の本県の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が39位、心疾患が37位、脳血管疾患が23位となっている。

図2 主な死因別の死亡率の年次推移



(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,448人で最も多く、以下「胃」が867人、「大腸」が732人、「肝」が638人、「膵」が458人の順である。この順位は前年と変わっていない。

女は「大腸」が584人で最も多く、以下「胃」が468人、「膵」が450人、「肺」が442人、「乳房」が375人の順となっている。昨年は「大腸」が1番目(546人)、「胃」が2番目(502人)、「肺」が3番目(500人)、「膵」が4番目(407人)、「乳房」が5番目(390人)であった。

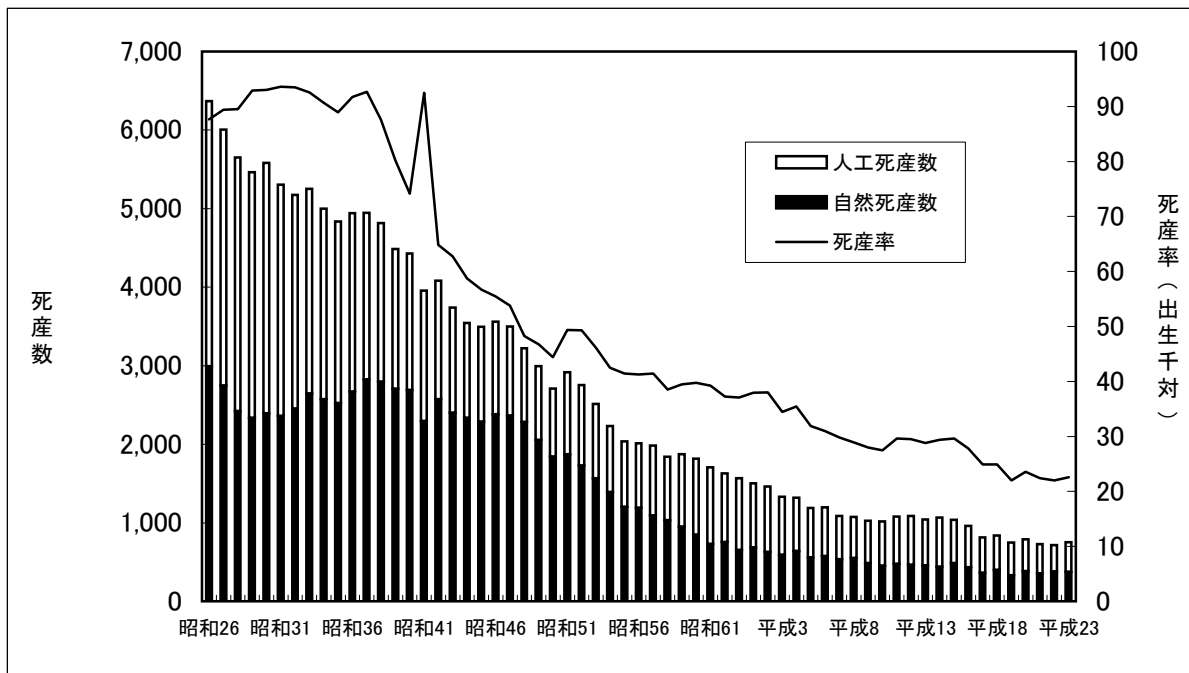
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

3 死産

平成23年の死産（妊娠満12週以後の死児の出産）数は720胎で、前年の716胎より4胎増加し、死産率（出産（出産＋死産）千対）は22.6で前年の22.0を上回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年からは昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

図3 死産数及び死産率の年次推移



4 婚姻・離婚

(1) 婚姻

平成23年の婚姻件数は19,093組で、前年の20,323組より1,230組減少し、婚姻率（人口千対）は5.2で、前年の5.5を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、平成15年以降6.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫30.5歳、妻28.6歳で、前年より上昇した。

表9 婚姻の年次推移

	婚 姻			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0
50	27,541	8.3	941,628	8.5
55	22,460	6.5	774,702	6.7
60	21,501	6.0	735,850	6.1
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9
4	22,000	6.0	754,441	6.1
5	23,144	6.3	792,658	6.4
6	22,724	6.1	782,738	6.3
7	22,991	6.2	791,888	6.4
8	23,117	6.2	795,080	6.4
9	22,513	6.1	755,651	6.2
10	23,134	6.2	784,595	6.3
11	22,429	6.0	762,028	6.1
12	23,550	6.3	798,138	6.4
13	24,019	6.5	799,999	6.4
14	22,635	6.1	757,331	6.0
15	21,817	5.9	740,191	5.9
16	21,304	5.7	720,417	5.7
17	21,056	5.7	714,265	5.7
18	21,663	5.8	730,971	5.8
19	21,150	5.7	719,822	5.7
20	21,193	5.7	726,106	5.8
21	20,716	5.6	707,734	5.6
22	20,323	5.5	700,214	5.5
23	19,093	5.2	661,899	5.2

(注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静 岡 県			全 国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
	昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
5	28.5	26.0	2.5	28.4	26.1	2.3
10	28.7	26.6	2.1	28.6	26.7	1.9
15	29.4	27.4	2.0	29.4	27.6	1.8
16	29.6	27.6	2.0	29.6	27.8	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
18	29.9	27.9	2.0	30.0	28.2	1.8
19	30.0	28.1	1.9	30.1	28.3	1.8
20	30.0	28.1	1.9	30.2	28.5	1.7
21	30.2	28.2	2.0	30.4	28.6	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
23	30.5	28.6	1.9	30.7	29.0	1.7

(注) 各届出年に結婚生活に入ったもの

(2) 離 婚

平成23年の離婚件数は6,805組で、前年の7,241組より436組減少し、離婚率（人口千対）は1.84で、前年の1.96より減少した。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降は減少に転じていたが、平成21年に再び増加したが、平成22年以降は減少に転じた。

表11 離婚の年次推移

	離 婚			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
5	5,292	1.44	188,297	1.52
6	5,426	1.47	195,106	1.57
7	5,723	1.55	199,016	1.60
8	5,795	1.56	206,955	1.66
9	6,298	1.70	222,635	1.78
10	6,780	1.82	243,183	1.94
11	6,975	1.87	250,529	2.00
12	7,380	1.99	264,246	2.10
13	7,967	2.14	285,911	2.27
14	7,985	2.14	289,836	2.30
15	8,087	2.17	283,854	2.25
16	7,688	2.06	270,804	2.15
17	7,474	2.01	261,917	2.08
18	7,281	1.96	257,475	2.04
19	7,208	1.94	254,832	2.02
20	6,959	1.87	251,136	1.99
21	7,352	1.98	253,353	2.01
22	7,241	1.96	251,378	1.99
23	6,805	1.84	235,734	1.87

(注) 離婚率は人口千対